「吹田市手話言語の普及及び障害者の意思疎通手段の利用を促進する条例」

(1) 目的（第1条）

- 手話が言語のひとつであることへの理解と手話の普及の促進
- 障がい者が情報を取得しやすく、視覚や聴覚など個々の障がいに応じたコミュニケーションの手段を容易に利用できる環境整備の推進

(2) 市の責務（第4条）

- 手話への理解の促進及び普及を図るとともに、障害者の情報の取得及びコミュニケーションの円滑化に関する施策を総合的かつ計画的に推進する

(3) 施策の推進方針（第8条）

- ① 手話への理解の促進及び普及に関する事項
- ② 障害者が情報を取得しやすく、コミュニケーション手段を選択して利用しやすい環境の整備に関する事項
- ③ コミュニケーション支援者の育成及び確保に関する事項
- ④ そのほか必要な事項

(4) コミュニケーション手段の提供、啓発等（第10条～第13条）

学ぶ機会の提供、情報発信、公共施設等における啓発、学校等における理解促進等

推進本部・庁内作業部会(※1)、及び社会福祉審議会障がい者施策推進専門部会にて作業部会(※2)を立ち上げ、令和6年12月までに施策推進方針を策定し、以後進捗管理を行っていく。

(※1)「吹田市障がい者福祉事業推進本部設置要領」第7条に基づき新たに設置。

(※2)「吹田市社会福祉審議会規則」第11条に基づき新たに設置。